研究課題名 (研究番号)	薬局内症例検討会がトレーシングレポートの質と量に与える影響 (2024-034)
当薬局の研究責任者 (所属)	渡辺 富美子 (日本調剤 柏の葉公園薬局)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	症例検討会の実施前後でのトレーシングレポートの量と質の変化を比較し、症例検討会の有用性を検証します。 (トレーシングレポート：患者さまから聞き取った情報を、必ずしも緊急を要さないものの主治医に情報提供すべきと考える情報をレポートにまとめたもの)
調査データ 該当期間	2021年6月～2026年3月までの情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象となる患者さま 当薬局において、国立がん研究センター東病院との薬薬連携で使用している抗がん薬治療中の専用フォーマットで作成したトレーシングレポートを期間中に提出したすべての方 ● 利用する情報 薬局のベースライン：処方箋応需枚数、期間内テレフォンフォローアップ件数 患者・治療のベースライン：年齢、性別、がん種、レジメン、レジメンのサイクル数、使用したトレーシングレポートフォーマットの種類 量的評価：トレーシングレポートの送信件数 質的評価：レジメン把握率（トレーシングレポートに記載したレジメンについて、未記載または返信での訂正されている割合）、記載項目割合（症状、指導内容、処方提案、その他事項をどのくらい記載できているか）、記載内容の集計（記載した副作用、指導内容、処方提案内容） アウトカム：治療期間（治療開始日から次治療開始前日または最終来局日の前日）、処方提案採択率
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	日本調剤株式会社 ホームページお問い合わせフォーム https://www.nicho.co.jp/inquiry/
備考	研究期間：2026年3月30日まで